

カリキュラム 1

Day1: 2022/02/04 (金) 人類にとっての食	Day2: 2022/02/05 (土) 食の安全保障 食と農のテクノロジー1	Day3: 2022/02/12 (土) 食と農のテクノロジー2	Day4: 2022/02/13 (日) 食と農の未来
9:20 接続確認	9:20 接続確認	9:20 接続確認	9:20 接続確認
9:30～9:50 (20min) 開講式	9:30～12:10 (150min) 『農業・食料のグローバルガバナンス～持続可能な食農システムへの転換をめぐる世界の動向～』 久野秀二 (京都大学教授)	9:30～12:10 (150min) 『技術開発と事業開発の関係～技術を突き詰めるだけでは事業は生まれない～』 藤田朋宏 (京都大学教授、ちとせグループ代表取締役)	9:30～10:30 (60min) 『持続可能なフードシステムと消費者行動～消費行動・経営行動の向かうところ～』 鬼頭弥生 (京都大学講師)
9:50～10:50 (60min) 『この集中講義に対する学びへの構え』 宮野公樹 (京都大学准教授)			
11:00～13:40 (150min) 『何を食べるかが未来を創る～食農をめぐる環境変化と私たちの選択～』 秋津元輝 (京都大学教授)			10:50～11:50 (60min) 『食をめぐる新たな技術と市民の役割～人新世における食を考える～』 立川雅司 (名古屋大学教授)
	12:10～13:10 (60min) お昼休憩	12:10-13:10 (60min) お昼休憩	11:50～12:50 (60min) お昼休憩
	13:10～14:40 (90min) 『ロボット農機とスマート農業～データに基づく効率的な低環境負荷型農業を目指して～』 飯田訓久 (京都大学教授)	13:10～14:40 (90min) 『加速するフードテックの潮流～テクノロジーとの融合で食の社会課題解決を目指す～』 川野茉莉子 (東レ研究所研究員)	12:50～13:50 (60m) 『新たな食と農による社交を考える～コミュニケーションの進化とコロナ後の世界～』 山極壽一 (総合地球環境学研究所所長)
13:40～14:40 (60min) お昼休憩			14:10～16:10 (120min) 『食と農の未来』 パネリスト： - 山極壽一 (地球研所長) - 立川雅司 (名古屋大学教授) - 鬼頭弥生 (京都大学講師) - 西川信太郎 (JT)
14:40～16:10 (90min) 『ベジタリアニズムは世界を救ってきたか？～日本とインドの食と職の歴史に学ぶ～』 戸石七生 (東京大学准教授)	15:00～16:30 (90min) 『発酵醸造と食と腸内細菌～微生物と食の関係性から未来の食を考える～』 小川順 (京都大学教授)	15:00～16:00 (60min) リフレクション	ファシリテーター： - 白石晃将 (京都大学助教)
16:30～18:00 (90min) 『台所から現代史を考える～「ススと煙の台所」から「電気とガスの台所」へ～』 藤原辰史 (京都大学准教授)	16:50～17:50 (60min) リフレクション	1	16:30～17:30 (60min) リフレクション
			17:30～18:00 (30min) 閉講式、解散
18:30～20:00 (90min) オンライン交流会			18:30～20:00 オンライン交流会

カリキュラム 2

Day5: 2022/04/09 (土)
9:00 開館、受付
9:30～12:10 (150min) 『未定』
12:10-13:10 (60min) お昼休憩
13:10～15:50 (150min) 『未定』
16:00～17:00 リフレクション
17:10～18:10 (60min) 『ワインという飲み物～ワインビジネスの現状とブドウ・ワイン研究～』 講師：小田滋晃（京都大学名誉教授） 担当：徳賀芳弘（京都大学 ELP 委員長）
18:10～18:30 (20min) 移動
18:30～20:30 (120min) 懇親会

- * 5 日目（4 月 9 日）の講義がコロナウイルス感染拡大等の影響を受けて、対面での開催ができなくなった場合はオンラインで開催し延期は行いません。
- * 5 日目（4 月 9 日）は、申込者数によっては、一日のみ受講の新規募集も行う予定です。その場合は 8 万円（税込）と設定させていただく予定です。